

平成 16 年 8 月 2 日

内閣総理大臣

小泉純一郎様

北朝鮮による拉致被害者の救出にとりくむ法律家の会

共同代表 木村晋介

同 藤野義昭

特定失踪者問題調査会

代表 荒木和博

特定失踪者家族支援委員会

委員長 真鍋貞樹

政府未認定拉致被害者の認定に関する要請

拝啓

総理におかれましては日々拉致事件の完全解決に向けたご尽力、心より敬意を表します。

さて、北朝鮮による拉致被害者の救出にとりくむ法律家の会（以下「法律家の会」と略）および特定失踪者問題調査会（以下「調査会」と略）では、現在調査会にある約 400 人のリストのうち、本日時点で 32 人について「拉致の可能性が高い」とする、いわゆる 1000 番台リストとして発表しております（別表参照）。そして法律家の会ではご家族および調査会との連携のもと、本年 1 月 29 日までに以上のうち 16 人について告訴・告発を行っております。残りの 16 人についても 9 月末ないし 10 月に一斉告発を行う予定です。

調査会による調査では拉致被害者は少なくとも 100 人以上、おそらくはそれよりはるかに多くの日本人が拉致されていると推定されます。しかし、政府の拉致認定は、一昨年の総理訪朝で北朝鮮側が拉致を認めた曾我ひとみさん、石岡亨さん、松木薫さんの他に曾我ミヨシさんを加えた 4 人を認定したのみで、合計 15 人とどまっています。これはあまりにも実態とかけはなれたものと言わざるを得ません。

つきましては別表の「1000 番台リスト」32 人について早急に調査のうえ、拉致被害者として認定していただき、所要の対応をしていただきたくお願い申し上げます。また、政府認定者と特定失踪者の中間にある寺越昭二さん、外雄さん、武志さん、福留貴美子さん、田中実さん、小住健蔵さんについても早急に認定をされるとともに、特定失踪者の中であ

04年08月02日 ■未認定拉致被害者の認定に関する要請

だ1000番台リストに入っていない失踪者、さらにそれ以外の拉致の可能性のある失踪者についても早急かつ真剣な調査を行われ、拉致が明らかになった場合は迅速に政府認定を行うよう希望する次第です。

なお、失踪者のご家族は現在の「10件15人」で拉致問題が幕引きされてしまうのではないかと、非常に懸念しております。ぜひとも私たちやご家族の声を直接お聞き下さい。何卒真摯な対応を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

敬具